

特色あるSSH活動報告 その2

京都大学フィールド研連携体験講座

京都大学には北海道から九州まで全国に26の教育研究施設があり、「京都大学の窓」として親しまれている。今年度の本校SSH事業の一環として、本校から3kmの森林(昭和50年代までの徳山高校の学校林周辺)である「京都大学徳山試験地(大学の演習林・ふるさと文化財の森)」で、京都大学と連携した本校独自の体験講座を推進している。

- ① 6月13日 京都大学徳山試験地
参加生徒4名(登山部2年)



京都大学の横山先生による
森海連携学教育ユニット
「沿岸環境の保全と養殖」等

- ② 7月30日 周南西緑地(万葉の森観察会)
参加生徒4名(科学部員)



京都大学農学部の旧試験地の
周南緑地公園に植えられている
低木・高木等の植生を観察

- ③ 8月9日 山口高校(理数科合同合宿)
参加生徒:理数科1年38名



海の生き物を守る会代表(北海道
大学名誉教授)向井先生と京
都大学 中島先生による講演

- ④ 8月29日 京大ポケゼミ
参加生徒9名(科学部員)



「瀬戸内に見る森海連携」の
エッセンスで、末武川上流から
森(八代盆地)から里(米泉湖
ダム)を通して海(給島)まで
下る。京都大学:中島先生、久
保田先生、松浦先生

- ⑤ 10月31日 「京大ウィーク(森海環連)」
京都大学徳山試験地
参加生徒6名(科学部員)



一般市民30名、高校生10名、み
どりの案内人2名、京都大学:中
島先生、寄元先生、境先生、秋田
先生による一日研修講座

- ⑥ 11月21日 「京大・周南市連携講座」
京都大学徳山試験地
参加生徒3名(地歴部員)

京都大学坂野上先生「檜皮の供給とヒノキ林の経営」
保存会会長 村上さん「檜皮採取の解説及び実演見学」
選定保存技術保持者 大野さん「檜皮採取の実演」

科学の甲子園 2年連続全国大会へ

第5回科学の甲子園山口県予選会優勝

科学の甲子園山口県大会(23チーム出場)

11月15日 セミナーパーク 本校参加生徒18名



科学の甲子園は、1チーム6名で筆記競技(物理・化学・生物・地学・数学・情報に関する知識・活用を問う問題120分)と実技競技(与えられた課題に関する実験60分、限られた材料と制限時間で制作したボード上で鉄球を転がす時間を競う競技110分)の総合成績で競う。本校の1年生チームが総合成績で第1位となり、2年連続で、全国大会(3月18日から茨木県で開催)の切符を手にした。

特別講義(出前講義)

特別講義「科学的なものの見方」(40名)

11月10日 山大医学部附属病院 猪飼准教授

主な講義内容

- ・医学は「実学」
- ・「不確実な世界」で科学する方法:臨床研究
- ・「観察研究」:症例対照研究
- ・「介入研究」:前後比較研究
- ・「データ統合型研究」:決断分析・費用効果分析
- ・「医療の見える化と医療情報学」

特別講義「マレーシアの文化・産業」(27名)

10月24日 九工大マレーシアキャンパス 白井教授

生命体工学研究科(MSSC派遣)の白井教授自らの北九州地区の公害問題の克服した体験及びマレーシア海外勤務等の体験に基づいて以下のことを学んだ。

- ・日本とマレーシアの文化・風習・産業構造等の違い
- ・国際的な環境問題の解決に向けて、日本とマレーシアが協働して「省エネルギー、新エネルギー開発、3Rの促進」を取り組むメリット
- ・バイオマス(パームオイル)の可能性